

令和5年6月9日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 村山 俊雄 様

代表者 伊藤 和子  
記録者 佐藤 孝一  
班 員 水戸 芳美

議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和5年5月15日（月）午後7時～午後8時10分	
2 会 場	市立山口公民館	
3 欠 席 議 員	なし	
4 参 加 者 数	7名	
5 報 告 内 容	令和4年度の議会活動状況 議会・議員に対する意見・要望など	
6 意見交換の内容 (議会・議員及び市政に対する意見、提言、要望等)	出された意見等	当日の回答
	市民 中学生・高校生との意見交換会 で出された意見に対してどのような 対応を取られたのか。	議員 意見交換会では、感想や要望など 自由に意見を出してもらった。 要望については、所管の部署に 伝え、その回答を学校に報告した。 私が参加した二中では、通学路の 除雪や危険箇所などの意見があり、 そのことに対して一つ一つ解決策 を出して対応した。  議員 四中では、日ごろ感じている感想 や意見が出た。通学路の街路灯の 故障の場合の問い合わせ先とその 解決方法や、

		<p>また自分たちでも市役所に行って相談し解決できることもあることを説明した。パルテ内の新しく改修した学習スペースは自分たちも利用していて、市の取り組みをととても良いと評価していただいた。通学路の除雪については、たくさんの意見があり、所管の建設課に伝え、今年はしっかりと対応していただいた。</p> <p>議員 一中は意見交換会を開催できなかったが、家族で話し合う時間を持ったということを知っており、これをきっかけにいろいろな意見を出してくれれば良いと感じている。初めての中学生との意見交換会だったが、いい方向に進んでいると感じた。</p>
	<p>市民 ワールドカフェ方式とワークショップとは違うのか。</p>	<p>議員 1月に、初めてワールドカフェ方式で意見交換会を行った。認定講師の工藤さんをお迎えし、「天童市の未来を考える」というテーマで行った。いろいろな素晴らしい意見が出され、付箋紙に書いた意見が凝縮されてくると、天童のまちづくりをこういうふうにしていくと良くなっていくんだなあ、将来像としていろいろな意見があると</p>

	<p>市民</p> <p>前に職場でK J法で若い人の意見を書いてもらって何をするのかということを決めていくことを実践していた。しゃべるのが苦手な人もいて書いてもらうということは大変いいことだ、続けていただきたい。</p>	<p>いう気づきがあり、継続して開催していくべきと感じた。</p> <p>議員</p> <p>グループごとに話し合いをし、途中で意見が集約できた段階で代表者を残し、他のメンバーが別のグループに行き、そこではどのような話し合いになったのか意見を聞き、グループに戻ってきて再度話し合いをし、他のグループの状況を参考にし、ブラッシュアップして、より良いものを作り上げていくという方法である。初めてにしてはいい話し合いが出来たと感じた。</p> <p>議員</p> <p>最後にテーブルごとの発表があり、参加者みんなで聞いて情報の共有をした。</p>
	<p>市民</p> <p>自分の住んでいる二子沢集落は限界集落に近いようなところで、山口地区だけでなく、他の集落においても近いような状況のところがあると思う。私たちの子どもの世代が集落に住まずに、天童市内に</p>	<p>議員</p> <p>市役所の隣の東本町に住んでいるが、第1回目の土地区画整理事業でできたまちで60年近く経った。二子沢と同じように、若い世代が同居せず高齢者世帯が多くなっている。小学生がいないと</p>

	<p>住宅を建てているという状況だ。残された高齢者世帯だけになり、老老介護などの状況も生まれている。このような状況は、他の地域でも起きているのか。</p>	<p>いう状況が街中でも生まれている。昨年、市内の空き家調査を行ったが5年前の調査よりは解消されているが空き家の比率は上がってきている。本市では、施策として空き家対策の部署や空き家解消のための補助金など力を入れている。老野森や久野本などでは、1軒の家の跡地に複数軒の新築家屋ができてきている状況だ。</p> <p>老老介護の状況になった場合は、地域のつながりを強くして、助け合うような関係を作っていくべきだ。しかし、コロナの影響もあり、つながりが希薄化している。この状況をどのように回復していくのか、町内会で事業をしながらコミュニケーションを深めて行くなど、今後の大きな課題と感じている。</p>
	<p>市民</p> <p>田麦野は山間部の高齢者集落であり、やっと今年3月に子どもが生まれて楽しみだ。空き家の問題について、市報にも助成金が出ていたが、空き家を解消するにもお金がかかる。数十万円の助成では何もできない状況で、空き家対策にもっと力を入れてほしい。地区内に29軒の空き家があり、半数はどうか管理してもらっているが、半数はほっ</p>	<p>議員</p> <p>かなり深刻な問題だ。補助金など空き家対策に力を入れ始めたが、半端でないお金がかかるので、なかなか進まないのが現状だと思う。街中は、更地にすれば売買も可能だが、周辺集落は簡単に売れるものでもない。そのあたりはもっと力を入れていかなければと感じている。こうしてほしいなどの意見があれば聞かせてほしい。</p>

	<p>たらかしの状況だ。ここ数年の間に田麦野地区では約 20 名 10 世帯程度が移住している。しかし、空き家対策をしつかりとし、また移住者との地域交流を図っていかないと移住者が来ない、住んでくれないという状況になっていくのではないか。</p>	<p>議員  去年、空き家の調査を行ったが、空き家のランクも四段階 ABCD がある。C や D のランクになると、空き家バンクの登録もできない。田麦野地区にある空き家は、登録されている件数も少ない。住みたくなる環境づくりが大切。移住・定住に結びつけるには、周りの理解と協力がないと難しい。現在の地域おこし協力隊には、任期明けに田麦野に移住・定住してもらいたいと思っている。働く場所や子育てしやすい環境の整備に向けて、私たち議員も努力していかなければならない。</p>
	<p>市民  農家を維持できない問題、天童市は都市計画がしっかりしていて、生活インフラも整っており、上下水道や道路などもよく整備されている。周辺部は、農業振興地域のしぼりがあり、思うような開発ができない。農業・農地を守る意味で農振地域を指定をしたのだろうが、現在は農業従事者が育たない。なぜかという、今の農業は利益を出すのが難しく、赤字で農業をやるのであれば、勤めた方がよく、荒廃農地の問題にもつながっている。農地は、個人資産なの</p>	<p>議員  どこにでも開発許可を出す弊害として考えられることは、インフラの整備が計画的にできないことだと思う。今後年数が経ってくると大きな問題になってくると感じている。天童市の 2050 年の人口予測では約 5 万人となり、現在より約 1 万人減ってしまう。それを見据え、コンパクトシティという考え方でまちづくりを計画している。将来を見据えてまちのあり方を考えていかないとダメな段階に来ていると思う。</p>

	<p>で、集積しにくい実態がある。周辺集落部の生き残りを考えていかないと、解決にはつなげていかないのではないか。</p>	<p>議員 農地法で様々なしぼりがあるため、天童市は難しいところがある。東根市はそういうしぼりがないため、畑の真ん中でも家を建てることのできる。環境整備としては後手の対策となる。冬場の除雪は困ることになるのではないか。私道に関しては、自分たちで除雪しなければならず、高齢世帯になると大変な状況になる。</p>
	<p>市民 農業を取り巻く環境は時代の転換期に来ていると感じる。霜害だったり高温障害でさくらんぼやラ・フランスなど、ここ4、5年まともにできていないようだ。環境の変化や気候変動に、どう対処して行けばいいのかみんな悩んでいるのではないか。農家をやってよかったなあと思うような国、県、市の施策をやっていたきたい。</p>	<p>議員 100年に一度と言われるような豪雨が数年おきにあり、今まで経験したことがないと言われる異常気象が数年おきにある。状況は相当逼迫している。</p>
	<p>市民 手厚い子育て支援に関してはありがたい。子育てしやすい環境になっているが少子化が止まらない。田麦野地域では小学生が1人、中学生がゼロの状況だ。子どもが少ない。 市民</p>	<p>議員 去年の出生数400人はコロナ禍でもあり特殊なことだと思うが、大幅に増えるというのも見込むことができない。結婚している人が少ない。国でも少子化に対しては本腰を入れてきたように感じる。</p>

	<p>国では男女平等の流れで企業や政治等の場に女性活躍を数値目標を掲げて推奨している。家庭や子どもより自己実現にウエイトを置く人が出てきてもおかしくない。</p>	<p>北欧の先進的な国では、何十年も前から社会福祉の政策を行っているため、成果が出ている状況にあり、しばらくタイムラグがあるのではないかと。福祉先進国では、所得に対する高率な税負担があっても将来に不安がないため、そういう負担をしても何も心配がないという社会が構築されている。日本では将来が見えてこないのが問題だ。</p> <p>議員 隣の県の仙台市からの移住を進めていくような施策を考えていきたい。働く場所や子育てしやすい場所の情報発信など。これからは小学校、中学校の教育として結婚について考える指導なども必要になってくるのではないかと。</p>
	<p>市民 天童市では予想を上回る人口減少、住宅着工件数の減少など危機感を持って取り組んでいると思う。先日、山形新聞に天童市の施策が載っていたが、市民に対しての施策等の情報発信を隅々まで行き渡るようにしてほしい。素晴らしい取り組みを行っているのに、それを市民が知らないということはもったいない。</p>	<p>議員 ご意見として承る。</p>

	<p>市民 国交省主催での未来を考える懇談会があるが人集めに苦労している。特に、若い世代がなかなか集まらず大変だ。今年、地域おこし協力隊の土井さんを中心に地区の若者の懇談会という形で進めている。</p> <p>市民 田麦野では、自治会や環境衛生委員や交通安全推進協議会など、一度役員になると長期間の任期になり、世代交代が進んでいなかった部分があり、これからの課題だ。これからも議員の方々には、他地区同様、田麦野地区の状況を気に留めていただければと思う。</p>	<p>議員 田麦野はしっかりとやっている。ぽんぽこのHPを見ると様々なことをやっているとすごいと感じている。もっと若い人たちの参加があってもいいのではと感じる。</p>
	<p>市民 敬老会については、運営委員と話はしていない。運営委員の意見を聞きながら進めていく。開催しない可能性もありそうだ。</p> <p>市民 今年の敬老会について、これまでは該当者のうち参加者は2割ぐらいだったが、不参加の方にも記念品などは贈呈していた。参加者だけの助成になると、これまでどおりのやり方は不可能だ。質の低下も考えられ、なおさら開催が難</p>	<p>議員 今年度から、これまで市が主催していた敬老会を、各地区の団体に任せることになる。 77歳以上の参加者に1500円の助成金が交付され敬老会を開催していただく。しかし、任意での開催になるため、地区によっては開催しなかったり、どのように扱えばいいのか困っているという声を聞くのでご意見を伺いたい。</p> <p>議員</p>



	<p>しくなる。地区で対応できなくなっても、分館などもあるので、従来の敬老会の方法がいいのでは。該当者全員の助成をいただければこれまでどおり対応したい。</p> <p>高齢者の集いがまったくなくなってしまうのが心配だ。</p>	<p>町内会長に敬老会についての連絡があったが、概要がわからず開催に当たっての指導もなく、通知だけでは納得できないという町内会長さんもいる。</p> <p>(※5月16日時点での状況で回答しています。敬老会事業については、一部変更されています。変更後のお知らせは、市報7月1日号に掲載されています。)</p>
<p>7 所 感</p>	<p>周辺集落の農業経営、農業従事者育成等への不安に加え、若い世代が離れ、高齢者世帯が増えていることや老老介護の問題が出された。空き家対策の補助事業も出されているが、多額の費用負担があり、実情に合った支援策を考えなければと痛感した。</p>	